

御注文の流れ

ご依頼・お問合せ

ご依頼は随時受け付けております。
お電話またはWebサイトのお問い合わせフォームから連絡ください。



<https://www.glytech.jp>
glytech-info@glytech.jp

回答

5営業日以内（最短当日）に、ご依頼内容への質問を含めた返答をいたします。

秘密保持契約締結

必要に応じて、秘密保持契約を締結いたします。

見積り

見積りを1～3週間で提示いたします。

実施

① カタログ糖鎖製品販売の場合

最短1週間で発送いたします。（在庫品に限る）

② 受託合成の場合

ペイロード、色素等の分子を結合させるための官能基を持つ糖鎖リンカーを受託合成いたします。特殊化合物を除き、1～3か月で合成いたします。

③ 糖鎖リモデリング

原料抗体受領後、最短1か月で発送いたします。

④ 糖鎖リンカーを含むADC

糖鎖リンカーを含むADC候補化合物は、原料抗体を受領後、約3か月で発送いたします。（糖鎖在庫と結合分子によって異なる）

糖鎖化学 ソリューション

抗体糖鎖リモデリング

GlyTech, Inc.

株式会社糖鎖工学研究所

〒600-8813 京都府京都市下京区中堂寺南町134番地
京都リサーチパーク1号館2階
TEL 075-315-9218 Fax 075-315-9225



<https://www.glytech-inc.com>
glytech-info@glytech.jp



@GlyTech_JP



@GlyTech

抗体医薬品開発のための糖鎖ソリューション

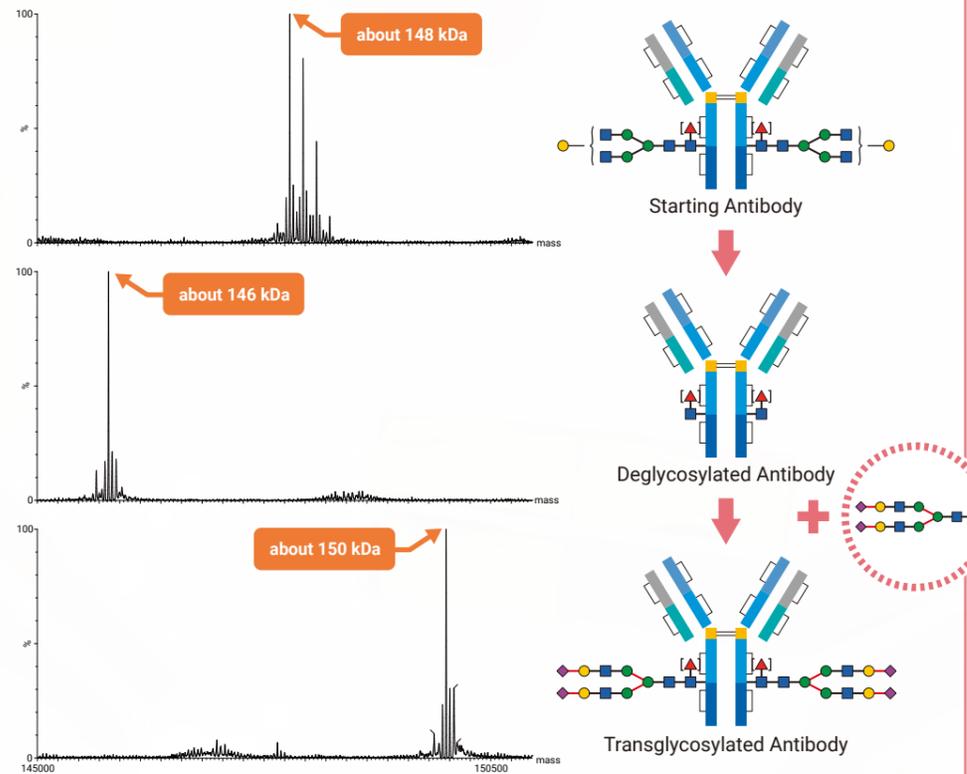
糖鎖工学研究所の糖鎖合成技術および糖鎖付加技術は、高機能化抗体および抗体薬物複合体（ADC）の開発に新たな可能性を見いだします。

当社の独自の技術は、抗体の糖鎖構造の均一化を可能にします。また、ペイロードや他の分子を既存の抗体に結合させるための特殊な糖鎖ベースのリンカーを合成し、新たなADCを作り出すことも可能です。

糖鎖リモデリング ワークフロー

抗体の初期分析（例：インタクトMS、糖鎖分析）を行った後、リモデリングの足場を残して糖鎖を切断します。その後、ご希望の糖鎖構造を均一に導入します。

各工程は、抗体の立体構造を変化させるリスクを最小限に抑えるために、温和な条件下で行います。



糖鎖工学研究所の糖鎖技術の特徴

構造が保証された糖鎖

糖鎖工学研究所の高度な糖鎖合成および糖鎖解析技術は、抗体のリモデリング前後において糖鎖および糖鎖ベースリンカーの均一性と糖鎖構造を保証します。

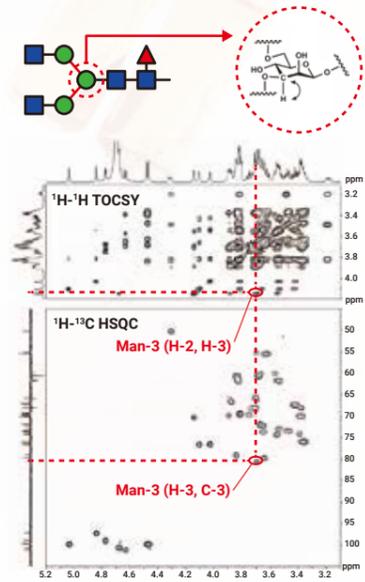
また、糖鎖工学研究所では、複数の多次元NMRによって、構成単糖だけでなく、“結合位置”や“結合様式”なども同定しています。

堅実な供給体制

開発ステージに応じたスムーズな糖鎖供給

当社の糖鎖生産プラットフォーム（10kg/年以上）は、研究段階から前臨床、臨床段階まで、あらゆるステージにおいて抗体リモデリング用糖鎖をスムーズに提供することが可能です。

FA2糖鎖のNMR解析



糖鎖工学研究所ができること

抗体の糖鎖リモデリング

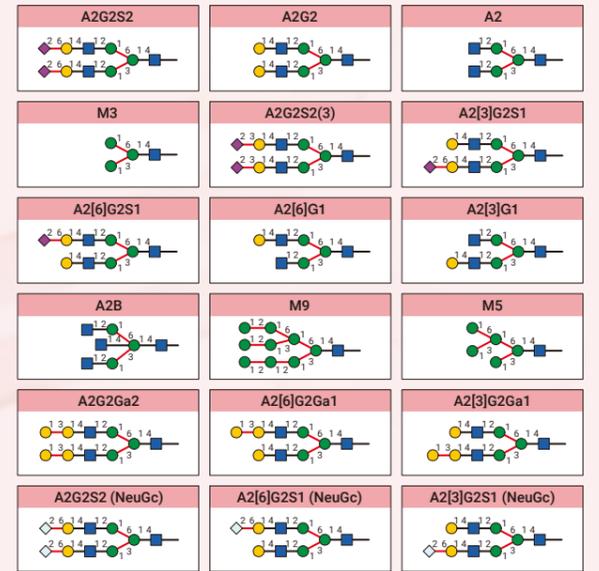
抗体上の糖鎖を均一化できれば、プロセス再現性の向上、QCの簡素化、治療効果の向上が可能になると考えられます。また、安定性および活性といった特性の改善も可能です。当社の抗体の糖鎖リモデリングプラットフォームは、汎用性の高い均一な糖鎖合成技術をもとに、ターゲット抗体上の糖鎖をご希望の糖鎖構造に置き換えます。

幅広い糖鎖ラインナップ

当社は世界をリードする糖鎖生産技術を誇り、50種類以上の糖鎖を大量かつ高純度な品質でご提供可能です。当社のN-結合型糖鎖試薬カタログには、単分岐型、非対称複合型、シアール酸含有糖鎖およびハイマンノース型糖鎖などを多数取り揃えております。

糖鎖ラインナップ

(オックスフォード法による命名)



凡例
 ◆ NeuAc
 ● Galactose
 ■ GlcNAc
 ● Mannose
 ▲ Fucose
 ◇ NeuGc
 — α-結合
 — β-結合
 表記例: α-2,6-Sialyl-Galactose

糖鎖構造をベースとしたADCリンカーの合成

当社が20年以上にわたり培った糖鎖研究の知見を生かし、抗体の糖鎖部分をADCリンカーとしてリモデリングすることが可能です。お客様のプロジェクトの目的とご要望に沿った様々なご提案をいたします。

幅広いリンカーデザインを選択

- 抗体への直接修飾に比べ、多様な結合方法やリンカー構造の選択が可能です。
- ペイロード/ラベルをあらかじめ糖鎖に導入しておくことによって、安定的なペイロード-リンカー構造の合成や特異的な切断部位の導入といったより多くの選択肢が可能となります。

抗体の均一性向上

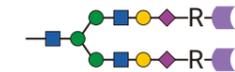
- 糖鎖選択的酵素による部位特異的なリモデリング
- 抗体タンパク質に対し化学修飾を行わないことによる副生物抑制のメリット
- 薬物抗体比の均一化
- 抗体の既存の特性を維持したままペイロード修飾が可能

その他の利点

- 糖鎖部位の高い水溶性が活用可能
- 最短2ステップで合成可能

自由なデザイン設計

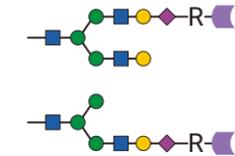
Symmetric type



R = Linker type:

- Azide
- Alkyne
- Thiol, etc..

Asymmetric type



■ = Conjugated molecule:

- Payload drug
- Label
- Isotope, etc..

柔軟な糖鎖修飾サービス

糖鎖を導入した抗体だけでなく、ペイロードや活性化基を有する糖鎖リンカーもご提供可能です。